■掲示板

■大学共同利用機関法人　自然科学研究機構　分子科学研究所 物質分子科学研究領域　電子構造研究部門　助教募集要項

1．**公募人員**：助教1名
2．**所属**：物質分子科学研究領域　電子構造研究部門
3．**職務内容**：
表面科学的手法による新規機能性物質相の創製あるいは表面物性解析手法の開発。なお，本公募の助教は，当該研究部門の横山利彦教授と協力して研究を行う。大学共同利用機関の構成員として必要な活動*に参画するほか，総合研究大学院大学の助教として，大学院生への教育および研究指導を行う。
*https://www.ims.ac.jp/about/joint-approach.html を参照
グループ Website　横山研究室 HP:
http://msmd.ims.ac.jp/yokoyama_g/
4．**資格**：修士課程修了者又はこれと同等以上の学力を有する者
5．**雇用形態**：常勤，定年制。
研究所内での昇任はなく，6年を目途に転出を推奨する。
（詳細はホームページ https://www.ims.ac.jp/recruit/policy.html および https://www.ims.ac.jp/recruit/kenkyukikan.html を参照）
6．**着任時期**：2019年2月1日以降，できる限り早期。
7．**公募締切**：2018年10月10日（水）（必着）
8．**提出書類**：
次の⑴～⑸の書類を PDF 形式で作成し，電子メールに添付して提出すること。
⑴　履歴書（所定書式による。書式は下記 URL から入手のこと。）
⑵　研究業績の概要（A4 用紙で3ページ以内［今後の抱負を含めてもよい。］）
⑶　業績リスト（記載方法は下記 URL を参照。）
⑷　主要論文（プレプリントも可）5編以内
⑸　推薦書（自薦の場合は不要）
書式，提出書類の記載方法等の詳細は，次の URL を参照すること。
https://www.ims.ac.jp/recruit/teisyutu.html
9．**選考方法**：
分子科学研究所運営会議人事選考部会の審議を経たうえで決定する。
ただし，適任者のない場合は，決定を保留することがある。
10．**給与**：**給与は自然科学研究機構の規程により決定する。**
11．**送付方法**：
⑴　送付先　応募書類は，電子メールにて岡崎統合事務センター総務部総務課人事係（r7113@orion.ac.jp）に提出してください。
なお，送付の際はメール件名を「電子構造研究部門 助教 応募書類」とし，メール本文に応募者氏名および応募の研究部門名，職名を記載してください。
また，添付ファイル（PDF）の容量が20 MB を超える場合は，それ以下のサイズに分割してください。
送付後，4営業日以内に受領通知のメールが届かない場合は，人事係までお問い合わせください。
⑵　問合せ先（給与等の待遇を含む。）
大学共同利用機関法人 自然科学研究機構
岡崎統合事務センター 総務部総務課 人事係
TEL：0564-55-7113
12．**その他**：
詳細は https://www.ims.ac.jp/recruit/2018/07/181010-2.html で確認してください。

■兵庫県立大学 高度産業科学技術研究所 教員公募要領

1．**公募人員**：教授または准教授　1名
（男女共同参画を推進していますので，女性研究者の応募を歓迎します。）
2．**所属部門**：光・量子科学技術大講座ビーム物理学分野
3．**専門分野**：ニュースバル放射光施設のハードウェアやシステムと整合性のある新規加速器光源の装置開発およびこれらを用いた研究を担うことができる方。さらに放射光利用分野の教員やスタッフと協調して献身的に運転および管理を担うことができる方。
4．**教育担当**：工学部機械・材料工学科および工学研究科材料・放射光工学専攻の科目が担当できる方
5．**応募資格**：①博士号取得者　②大学・大学院教育に熱意があり，研究指導の経験のある方
6．**着任時期**：2019年4月1日
7．**任期**：なし
8．**応募書類**：
①　履歴書（写真添付）
②　公募する専門分野における具体的な技術スキル（1,000字程度）
③　研究業績の概要（1,000字程度）
④　研究業績リスト（査読付き論文，国際会議発表，解説・著書，受賞，特許，競争的資金獲得状況など）
⑤　主要論文別刷り　5編（コピー可）
⑥　「着任後の研究計画」（2,000字程度）
⑦　「教育の実績・抱負」および「社会貢献の実績・抱負」（各々1,000字程度）
⑧　本人について照会可能な方2名の氏名と連絡先（所属，住所，TEL，E-mail）
⑨　応募者の連絡先（所属，住所，TEL，E-mail）
9．**応募締切**：2018年10月31日（水）必着

(C) 2018 The Japanese Society for Synchrotron Radiation Research

10. **選考方法**：書類による一次選考後，面接による二次選考を行います。
11. **書類提出**：
〒678-1205 兵庫県赤穂郡上郡町光都 3-1-2
兵庫県立大学高度産業科学技術研究所課長　石原　康範
TEL：0791-58-0249
FAX：0791-58-0242
※封筒の表に「ビーム物理学教員応募書類在中」と朱筆し，簡易書留で送付のこと。書類は返却しません。
12. **問合せ先**：
兵庫県立大学高度産業科学技術研究所　所長　渡邊　健夫
TEL：0791-58-0249
FAX：0791-58-0242
E-mail：takeo@lasti.u-hyogo.ac.jp

■兵庫県立大学 高度産業科学技術研究所 教員公募要領

1. **公募人員**：准教授　1名
（男女共同参画を推進していますので，女性研究者の応募を歓迎します。）
2. **所属部門**：光応用・先端技術大講座放射光ナノ工学分野
3. **専門分野**：次世代半導体微細加工技術開発，並びにこの技術開発に必要な軟X線領域の分析・評価技術開発に精通し，産業界との共同研究に積極的に取り組める方。さらに軟X線用放射光ビームラインの設計・構築ができる方が望ましい。
4. **教育担当**：工学部機械・材料工学科および工学研究科材料・放射光工学専攻の科目が担当できる方
5. **応募資格**：①博士号取得者　②大学・大学院教育に熱意があり，研究指導の経験のある方
6. **着任時期**：2019年4月1日
7. **任期**：なし
8. **応募書類**：
① 履歴書（写真添付）
② 研究業績の概要（1,000字程度）
③ 研究業績リスト（査読付き論文，国際会議発表，解説・著書，受賞，特許，競争的資金獲得状況など）
④ 主要論文別刷り　5編（コピー可）
⑤ 「着任後の研究計画」(2,000字程度)
⑥ 「教育の実績・抱負」および「社会貢献の実績・抱負」(各々1,000字程度)
⑦ 本人について照会可能な方2名の氏名と連絡先（所属，住所，TEL，E-mail）
⑧ 応募者の連絡先（所属，住所，TEL，E-mail）
9. **応募締切**：2018年10月31日（水）必着
10. **選考方法**：書類による一次選考後，面接による二次選考を行います。
11. **書類提出**：
〒678-1205 兵庫県赤穂郡上郡町光都 3-1-2
兵庫県立大学高度産業科学技術研究所課長　石原　康範
TEL：0791-58-0249
FAX：0791-58-0242
※封筒の表に「放射光ナノ工学教員応募書類在中」と朱筆し，簡易書留で送付のこと。書類は返却しません。
12. **問合せ先**：
兵庫県立大学高度産業科学技術研究所　所長　渡邊　健夫
TEL：0791-58-0249
FAX：0791-58-0242
E-mail：takeo@lasti.u-hyogo.ac.jp

■平成31年度 前期 高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所 放射光共同利用実験課題公募

1. **募集対象**：当施設の放射光および低速陽電子を利用する実験。主に大学等の研究者を対象としますが，科学研究費助成事業の申請資格を有する企業等の基礎研究も対象となります。
2. **応募期限**：
平成30年11月7日(水)（一般課題，特別課題）
平成30年11月16日(金)（大学院生奨励課題）
なお，予備実験・初心者型課題については，随時受付しています。
3. **応募要領**：
実験課題申請システム【https://pmsweb.kek.jp/k-pas/】を利用した電子申請となります。
申請受付は平成30年10月10日(水)に開始いたします。
具体的な申請書作成等に関する詳細については https://www2.kek.jp/uskek/apply/pf.html をご参照ください。
4. **その他**：研究成果は公表していただきます。
5. **問合せ先**：
高エネルギー加速器研究機構
研究協力部研究協力課
共同利用支援室共同利用係
E-mail：kyodo1@mail.kek.jp
TEL：029-864-5126

■会告

■日本放射光学会第119回評議員会議事録

日　時：2018年７月14日（土）　14：00～16：00
場　所：立命館東京キャンパス　教室２
出席者：足立伸一，雨宮健太，五十嵐教之，篭島靖（編集幹事），加藤政博，河田洋，岸本俊二，木下豊彦，木村滋，木村洋昭，組頭広志（行事幹事），後藤俊治，大門寛，原田慈久，中川敦史，野村昌治，藤森淳，藤原明比古，松田巌，百生敦，矢代航，矢橋牧名（渉外幹事），横山利彦　稲田康宏（会計幹事），内海渉（庶務幹事），小杉信博（会長）
欠席者：朝倉清高，足立純一，有馬孝尚，近藤寛，櫻井吉晴，高田昌樹，渡邉信久
事務局：佐藤亜己奈

〈審議事項〉

1.　旅費支給規定の制定について
内海庶務幹事より，日本放射光学会旅費支給規定(案)について説明があった。これを承認し，平成30年７月14日から施行することを確認した。

日本放射光学会旅費支給規程

第１条　評議員会，幹事会，特別委員会，常置委員会，日本放射光学会が実施する講習会と研究会での用務のために出張する際の旅費の支給については，本規程の定めるところによる。
第２条　旅費の種類は，鉄道賃，船賃，航空賃，車賃及び宿泊料とする。
２　鉄道賃は鉄道旅行について，船賃は水路旅行について，又航空賃は航空旅行についてそれぞれ路程に応じ旅客運賃等によって支給する。
３　車賃は，陸路（鉄道を除く。）旅行について実費額により支給する。
第３条　旅費は，順路に従い最も経済的な通常の経路及び方法により旅行した場合の旅費により計算する。ただし，天災その他やむを得ない事情により，最も経済的な通常の経路又は方法によって旅行し難い場合には，その現によった経路及び方法によって計算する。
第４条　当該出張に対し，日本放射光学会以外の団体等がその旅費の一部または全部を負担する場合は，旅費の一部または全部を支給しない。
第５条　鉄道賃は，出張者の勤務先に最も近いJR駅と用務地に最も近いJR駅間の往復にかかる乗車する日の料金（以下「当日料金」という。）とする。
２　前項の規定にかかわらず，用務地の最寄りにJR以外の公共交通機関駅がある場合は，出張者の勤務先に最も近いJR駅と用務地に最も近いJR以外の公共交通機関駅間の往復にかかる当日料金を支給する。
３　鉄道賃としては，乗車に要する運賃，特別急行料金または急行料金，座席指定料金を支給する。
第６条　船賃は，１等の当日料金を支給する。
第７条　航空賃は，現に支払う最下級の旅客運賃を支給する。
第８条　車賃は，公共交通機関利用の限りで当日料金を支給する。
第９条　宿泊料は，用務の遂行に必要と認められる場合に限り，13,000円の上限を超えない範囲で現に支払う宿泊料を支給する。
第10条　本規程の改正は，評議員会において行う。

附則　本規程は，平成30年７月14日よりこれを施行する。

2.　会員異動
内海庶務幹事より，第118回評議員会以降の入会申請者に関して，入会：正会員３名（内学生２名），シニア会員１名の報告があり，これを承認した。退会に関して，退会：正会員12名（内学生３名）を確認した。2018年７月14日現在での総会員数は1,271名（内学生130名），名誉会員５名，シニア会員57名，賛助会員46社（48口），特別賛助会員12団体（19口）。
また，現在会費2年滞納となっている60名のリストを確認した。
3.　AOFSRRについて
小杉会長より，AOFSRR 2018 Council Meeting，AO-SRI 2020（日本で開催予定，開催場所検討中），AOF-SR school 2018（2018年９月９日～15日，韓国で開催予定），AOF-SR School 2019およびAOFSRR 2019 Council meeting（候補地：台湾），Taipei Communique等について報告があった。
4.　大学院生の発表支援奨学金について
矢橋渉外幹事より，放射光科学分野への若手人材の参画を推進し，支援するために，放射光に関わる研究を行っている大学院生の優れた研究成果の国際発信支援を行うこと，特に，AOFSRRに関連する会議・行事（AO-SRI, AOF SR School等）に参加・発表する大学院生に奨学金を支給することについて提案があった。これを承認し，次年度開始予定で具体的に検討を進めることとした。
5.　学会と施設の関係について
小杉会長より，本学会と放射光施設との関係について，学会から施設への還元を考える時期ではないかとの説明があり，光ビームプラットフォームの一部を継承すること，施設長等会議を定例化（年１回）することの提案があった。これを承認し，検討を進めることとした。
6.　協賛・後援・共催
矢橋渉外幹事より，本学会に対する協賛・後援・共催依頼について事後承認の依頼があり，協賛16件，後援１件を承認した。

〈報告事項〉

1.　次期評議員選挙結果
内海庶務幹事より，次期評議員選挙の開票の結果，15位が同票となったことが報告された。細則第２章・第６条-4で

は，「票数が同じ場合は，評議員会が決定する。」と定められており，今回は出席評議員による決選投票を行うことが提案され，これを承認した。

決選投票の結果，選出された次期改選評議員（15名）は下記の通り。

新評議員：雨宮慶幸，石川哲也，内海渉，太田俊明，尾嶋正治，木村昭夫，木村真一，小杉信博，辛埴，田中義人，中尾裕則，初井宇記，水木純一郎，村上洋一，若林裕助

2. 文部科学省ロードマップ2017フォローアップ
内海庶務幹事より，文部科学省ロードマップ2017のフォローアップシートを2018年6月25日に提出したとの報告があった。

3. JSR2019 準備状況
組頭行事幹事より，JSR2019 の準備状況，組織委員会，プログラム委員会，収支計画等に関する報告があった。組織委員会報告資料として示された「年会・合同シンポ委員の申し合わせ」が古いバージョンのものではないかとの指摘があり，確認の上，改めてメール審議することとした。
また，JSR2019 準備金として学会会計から100万円を借り入れているが，残高が少なくなっているため，200万円を追加で借り入れたいとの提案があり，これを承認した。尚，JSR2019 予算案および準備金の執行状況について精査したものを次回報告することとした。

4. JSR2020 準備状況
組頭行事幹事より，2020年1月10日（金）～12日（日）にウィンクあいちで開催予定の第33回年会・合同シンポ（JSR2020）の準備状況について，JSR2020 準備委員会を設立し，会場予約を行ったとの報告があった。
※なお，本評議員会において，組織委員会の構成が誤りであることが判明したため，組織委員会での再検討を行ってもらい，その結果を7月25日付けメールで評議員会メンバーに改めて報告した。その上で，該当箇所の修正を行ったものを本評議員会の最終資料とした。

5. 第10回基礎講習会準備状況
組頭行事幹事より，2018年9月13日（木）～14日（金）に東北大学片平キャンパスで開催予定の第10回放射光基礎講習会準備状況について報告があった。

6. 第10回若手研究会準備状況
組頭行事幹事より，2018年9月3日（月）～4日（火）に東京大学本郷キャンパスで開催予定の第10回若手研究会「放射光×インフォマティクス」準備状況について報告があった。

7. 会誌編集状況
篭島編集幹事より，依頼記事の進捗状況，日本中性子科学会と連携を取りながら進めている特集号「量子ビームの協奏的利用による先端研究（仮題）」の進捗状況について報告があった。この特集号に限り，本学会員と日本中性子科学会員がお互いの学会誌を閲覧できるように出来ないかとの提案があり，担当編集委員に検討を依頼することとした。

8. 単行本「放射光ビームライン光学技術入門」電子書籍版の出版について
篭島編集幹事より，「放射光ビームライン光学技術入門」電子書籍出版に関して，「著作物利用許諾及出版契約(案)」が示された。契約書案を確認し，契約を進めることを承認した。

9. 次世代放射光施設パートナー選定
内海庶務幹事より，次世代放射光施設（軟X線向け高輝度3 GeV 級放射光源）官民地域パートナーシップ具体化のためのパートナー選定等に関して，7月3日に文部科学省から発表された内容および，それに先立ち取りまとめられた科学技術・学術審議会量子ビーム利用推進小委員会の調査検討結果概要について報告があった。

10. 学会賞・各種賞への学会からの推薦
内海庶務幹事より，学会三賞および現在募集中の各種推薦が示され，積極的に候補者を推薦して欲しいとの説明があった。

評議員会日程（予定）の確認

第120回評議員会　2018年10月27日（土）場所：未定

■会員異動

第119回評議員会（2018年7月14日）で承認

《正会員入会》

増田　孝彦　岡山大学異分野基礎科学研究所量子宇宙研究コア

以上1名

《学生会員入会》

Eka Novitasari　立命館大学　生命科学研究科　生命科学専攻　応用化学

谷本　　拓　山形大学大学院理工学研究科

以上2名

《シニア会員入会》

寿栄松宏仁

以上1名

《退会会員》

正会員9名，学生会員3名

《会員数》

会員1271名（内学生130名）名誉会員5名　シニア会員57名

賛助会員46社（48口）特別賛助会員12団体（19口）

■行事予定

開催月日	名　　　称	開　催　地	主催又は問い合わせ先	掲載巻・号
2018年 10/4–5	第９回社会人のための表面科学ベーシック講座	東京理科大学 森戸記念館 第１フォーラム	公益社団法人日本表面真空学会 E-mail: office@jvss.jp	31・5
10/4–6	International Workshop on Trends in Advanced Spectroscopy in Materials Science（TASPEC）	広島大学学士会館	広島大学放射光科学研究センター TASPEC 実行委員会 E-mail: TASPEC-loc@ml.hiroshima-u.ac.jp	31・5
10/18–19	第66回表面科学基礎講座「表面・界面分析の基礎と応用」	大阪大学 豊中キャンパス Σホールセミナー室（基礎工学国際棟）	公益社団法人日本表面真空学会 E-mail: office@jvss.jp	31・5
10/25–26	第54回 X 線分析討論会	東京理科大学 神楽坂キャンパス	（公社）日本分析化学会 X 線分析研究懇談会 E-mail: inakai@rs.kagu.tus.ac.jp	31・4
10/31 –11/2	第47回結晶成長国内会議（JCCG–47）	仙台市戦災復興記念館	日本結晶成長学会 E-mail: jccg-47@jacg.jp	31・5
11/16	第47回 薄膜・表面物理 基礎講座（2018）「データサイエンスを活用した固体材料・表面研究の最前線」	東京理科大学 森戸記念館 第一フォーラム	応用物理学会 薄膜・表面物理分科会 E-mail: igarashi@jsap.or.jp	31・4
11/19–21	2018年日本表面真空学会学術講演会	神戸国際会議場	公益社団法人日本表面真空学会 E-mail: taikai2018@jvss.jp	31・5
11/21–22	第17回放射線プロセスシンポジウム	東京大学 弥生キャンパス 弥生講堂	放射線プロセスシンポジウム実行委員会 E-mail: radiaproc.sympo@rada.or.jp	31・5
11/26–28	第59回高圧討論会	岡山理科大学	日本高圧力学会 E-mail: touronkai59@highpressure.jp	31・3
2019年 11/3–8	第８回実用表面分析国際シンポジウム	北海道札幌市，ホテルエミシア札幌	一般社団法人表面分析研究会 URL: http://www.sasj.jp/PSA/PSA19/	31・5

● 会誌オンライン利用方法に関するご案内 ●

編集委員長　篭島　靖
渉外幹事　矢橋牧名

オンライン会誌にアクセスするには，放射光学会のトップページにある会員専用ボタンをクリックし，会員専用ページにアクセスする必要があります。

会員専用ページにアクセスするためのユーザー ID とパスワードは

User ID: jsr315

Password: hkS3m4ri

です。このユーザー ID とパスワードは，次号が発行された後に失効します。

会員専用ページにある，学会誌「放射光」のオンライン閲覧をクリックして頂ければ，オンライン会誌を従来通りご覧頂くことができます。

会員以外の方へのパスワード漏洩は禁止いたします。また，記事の著作権は日本放射光学会にありますので，転載等のご希望に関しては，必ず事務局までご連絡下さい。良識あるご利用で，会員の皆様のお役に立てれば幸いです。

ホームページに関して問題等ございましたら，矢橋（yabashi@spring8.or.jp）までご連絡下さい。オンライン会誌に関するご連絡は，篭島（kagosima@sci.u-hyogo.ac.jp）までお願いします。

■第９回社会人のための表面科学ベーシック講座

主　催：公益社団法人 日本表面真空学会
協　賛：日本放射光学会，他
日　時：2018年10月４日（木）～10月５日（金）
場　所：東京理科大学　森戸記念館　第１フォーラム
（東京都新宿区神楽坂 4-2-2）
定　員：70名（定員に達し次第〆切ります）
問合せ先：
公益社団法人日本表面真空学会
〒113-0033 東京都文京区本郷 5-25-16 石川ビル 5F
TEL：03-3812-0266　FAX：03-3812-2897
E-mail：office@jvss.jp
詳　細：http://www. jvss.jp/

■International Workshop on Trends in Advanced Spectroscopy in Materials Science（TASPEC）

主　催：広島大学放射光科学研究センター　TASPEC 実行委員会
協　賛：日本放射光学会
日　時：2018年10月４日（木）～10月６日（金）
場　所：広島大学学士会館
問合せ先：
TASPEC Local Steering Committee
Hiroshima Synchrotron Radiation Center,
Hiroshima University
2-313 Kagamiyama, Higashi-Hiroshima, Hiroshima 739-0046, Japan
TEL：＋81-82-424-6293　FAX：＋81-82-424-6294
E-mail：TASPEC-loc@ml.hiroshima-u.ac.jp
詳　細：http://www.hsrc.hiroshima-u.ac.jp/TASPEC/index.htm

■第66回表面科学基礎講座「表面・界面分析の基礎と応用」

主　催：公益社団法人 日本表面真空学会
協　賛：日本放射光学会，他
日　時：2018年10月18日（木）～10月19日（金）
場　所：大阪大学 豊中キャンパス　Σホールセミナー室（基礎工学国際棟）
申込締切：2018年10月11日（木）
定　員：70名（定員に達し次第〆切ります）
問合せ先：
公益社団法人　日本表面真空学会
〒113-0033 東京都文京区本郷 5-25-16　石川ビル５階
TEL：03-3812-0266　FAX：03-3812-2897
E-mail：office@jvss.jp
詳　細：http://www.jvss.jp/

■第47回結晶成長国内会議（JCCG-47）

主　催：日本結晶成長学会
協　賛：日本放射光学会，他
日　時：2018年10月31日（水）～11月２日（金）
場　所：仙台市戦災復興記念館（宮城県仙台市）
問合せ先：
日本結晶成長学会事務局　JCCG-47 担当
E-mail：jccg-47@jacg.jp
詳　細：http://www.jacg.jp/jp/event/2018/jccg-47/

■2018年日本表面真空学会学術講演会

主　催：公益社団法人 日本表面真空学会
協　賛：日本放射光学会，他
日　時：2018年11月19日（月）～11月21日（水）
場　所：神戸国際会議場（〒650-0046 兵庫県神戸市中央区港島中町６丁目 9-1）
問合せ先：日本表面真空学会事務局
E-mail：taikai2018@jvss.jp
詳　細：http://www.jvss.jp/

■第17回放射線プロセスシンポジウム

主　催：放射線プロセスシンポジウム実行委員会
協　賛：日本放射光学会，他
日　時：2018年11月21日（水）～11月22日（木）
場　所：東京大学 弥生キャンパス 弥生講堂（東京都文京区弥生 1-1-1）
問合せ先：
放射線プロセスシンポジウム実行委員会事務局
（一財）放射線利用振興協会 高崎事業所（担当 須永，前田）
〒370-1207 群馬県高崎市綿貫町1233
TEL：027-346-4246　FAX：027-346-9822
E-mail：radiaproc.sympo@rada.or.jp
詳　細：http://www.rada.or.jp/fukyu/17th_sympo_kaisaiannnai.pdf

■第８回実用表面分析国際シンポジウム

主　催：一般社団法人 表面分析研究会
協　賛：日本放射光学会，他
日　時：2019年11月３日（日）～11月８日（金）
場　所：北海道札幌市，ホテルエミシア札幌
詳　細：http://www.sasj.jp/PSA/PSA19/